

# まちなか文化施設編

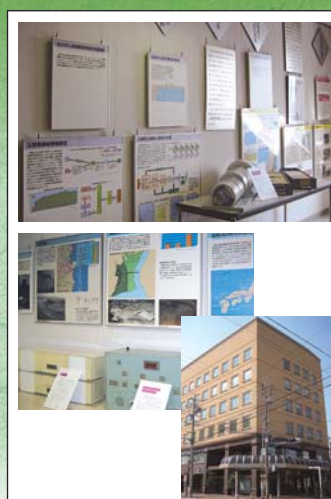
近鉄 四日市～四日市 JR 四日市

発行／四日市観光協会  
 〒510-0075  
 三重県四日市市安島一丁目1-56  
 TEL.059-357-0381  
<http://www.miesc.ne.jp/kanko/>  
 E-mail:kanko@m3.cty-net.ne.jp

2008年9月第3版発行

## 「市」の街 四日市

四日市市は、古くは東海道の宿場町として栄えた歴史をもち、面積二〇五・一六km<sup>2</sup>、人口約三十二万人の、三重県北勢地域の中心都市です。伊勢湾と鈴鹿山脈がある四日市市は、豊かな自然に恵まれ、みどころたくさん、おいしいものいっぱいです。



**① 四日市公害資料室** (本町プラザ4階)  
 【電話】059-354-8430  
 【休館日】日・月曜日・祝日  
 【開館時間】午前9時～午後5時  
 高度経済成長期に起こった「四日市公害」について、当時の写真や機器、ビデオ等を公開しています。現在は、住民、企業、行政の努力により公害を克服したまちとして、かつての経験を振り返り環境を考える場所となっています。



**⑨ すわ公園交流館**  
 【電話】059-350-8411  
 【休館日】月曜日(祝日の場合は、翌日)  
 【開館時間】午前9時30分～午後6時30分  
 昭和4年(1929)に地元の実業家から、鉄筋コンクリート造りレンガ仕上げで近代的な図書館として寄贈された建物です。平成15年(2003)に国の登録有形文化財に指定されています。現在は「まちなか元気発信拠点」として、幅広い世代の方の交流の場、憩の場になっており、自由にご利用いただけます。



**⑧ 四日市観光協会**  
 【電話】059-357-0381  
 【休館日】火曜日  
 【開館時間】午前10時～午後7時  
 四日市にお越しになりましたら、まずは、近鉄四日市駅高架下中央通沿いの観光協会へお気軽にお立ち寄り下さい!! 観光・宿泊など、ご案内します。



**⑤ 市民公園**  
 公園中央の伊勢湾を描いたイベント広場と芝生広場から見える、南正面の「七海のかけ橋」の水景モニュメントが水の乱舞で楽しませてくれ、憩の場になっています。



**① 四日市市立図書館**  
 【電話】059-352-5108  
 【休館日】月曜日 第2・4火曜日  
 【開館時間】火～金  
 午前9時30分～午後7時  
 土・日・祝祭日  
 午前9時30分～午後5時  
 四日市と三重県に関する資料を、2階地域資料室に多数収集しています。また、火曜日から金曜日までは午後7時までご利用いただけます。



**② 四日市市文化会館**  
 【電話】059-354-4501  
 【休館日】月曜日(第2を除く) 祝日の場合は、翌日  
 第1ホール1,816人、第2ホール609人を収容できる総合的な文化施設です。常設展示室、レストラン等を併設し、市民の文化の起点となっています。



### 定期市

古くから「市」が開かれたまちとして栄え、現在も市民の生活に溶け込んでいます。

- **西浦即売場** (中部地区市民センター西)  
 開催日 1,6,3,8のつく日 午前7時～12時
- **市役所市場** (市役所北側歩道)  
 開催日 1,6,3,8のつく日 午前7時～12時
- **ふれあい四の市** (一番街商店街)  
 開催日 4のつく日 午前9時～午後1時
- **なんでも四の市** (諏訪新道・三滝通り)  
 開催日 毎月最終日曜日(12月のみ一週繰上げ) 午前9時～午後4時  
 陶器や古本などの骨董品や日用品、リサイクル家具などが揃っています。



**③ じばさん三重**  
 (三重北勢地域地場産業振興センター)  
 【電話】059-353-8100  
 【休館日】第2・4水曜日  
 【開館時間】午前10時～午後6時(夏期7時まで)  
 1階名品館では、三重北勢地域の伝統の技と味が受け継がれている地場産品の販売をしています。また、253人定員のホール、その他研修室もご利用下さい。



**④ 四日市市立博物館**  
 【電話】059-355-2700  
 【休館日】月曜日(祝日の場合は、翌日)  
 【開館時間】午前9時30分～午後5時(入館は午後4時30分まで)  
 企画展のほか、常設展(無料)で四日市を紹介しており、四日市出身の文化勲章作家、丹羽文雄氏の記念室も設置しています。ミュージアムショップも併設。プラネタリウム 観覧料…一般530円、高校・大学生370円、小・中学校200円



**⑥ 歌碑(丹羽文雄)**  
 四日市出身の作家丹羽文雄の「古里は菜の花もあり父の顔」の句が刻まれています。  
 (「をりふしの風景」昭和63年)



**⑦ 茶室 泗翠庵**  
 【電話】059-352-4960  
 【休館日】月曜日(祝日の場合は、翌日)  
 どなたでも予約なしで立札席が気軽にご利用いただけます。庭の見学もご案内します。  
 (午前10時～午後4時/一服400円)  
 また、毎月第3日曜日は、月釜を開催します。  
 (午前10時～午後3時/一席700円)



**⑩ 丹羽文雄生家(崇顕寺)**  
 四日市出身の文化勲章受章作家丹羽文雄(1904～2005)の生家です。昭和7年「文藝春秋」に発表した「鮎」で高い評価を受け、ふるさと四日市を描いた「菜の花時まで」など数多くの名作を世に出し、文壇の第一線で活躍し昭和53年に名誉市民となりました。



**⑫ 稲葉三右衛門翁銅像**  
 明治時代、地震で浅くなった四日市港の将来を憂えた回船問屋の稲葉三右衛門が、明治6年(1873)から同年17年まで11年間にわたり私財を投げうって修築工事を進め、困難や苦勞を乗り越え四日市港を開港させました。現在、稲葉翁が四日市港の行く末を見守るかのようになっています。